

原是驚異問曰、君家何許、姓氏爲誰、兒曰、阿呼小字無姓無家、唯欲父事相公爾、善。

古今著聞集釋教更部王記曰、○中昔本元興寺僧有童子名阿古少而聰悟、
〔大鏡六大臣道隆〕帥殿伊周原の御一服の十六にて中納言になりなごして、よの中のはかなもの、
といはれ給ひし、殿の御童名は阿古君○隆ぞかし、

〔江談抄三雜事〕近衛舍人得名輩

尾張安居改用訓云々

〔源氏物語二帶木〕かくれたらん所にだになをるていけどの給へど、○源いとむつかしげにさし
こめられて、人あまた侍めれば、かしこげにと聞ゆ、いとおしと思へり、○君小よしあこだになす
てそとの給て、御かたはらにふせ給へり、わかくなめかしき御ありさまをうれしくめでたし
ぞおもひたれば、つれなき人よりは、中々あはれにおぼさるぞ、

〔故實拾要九〕童名

是堂上諸家中ノ息元服以前ノ童名、攝家ハ何君ト君ノ字ヲ被附也、或長君常君ナド云也、清華以下ノ諸家ハ、何丸ト丸ヲ被附也、藤丸鈴丸ナド云也、

〔大鏡七太政大臣道長〕太政大臣道長、○中男君ニ所と申は、今之關白左大臣頼通のおとゞと聞えさせて、○中是を宇治殿と申、わらは名は、たづみなり、今一所は、たゞ、今之内大臣にて左大將かけて、教通のおとゞと聞えます、よの一人にておはしますめり、これは二條殿、御わらはなせや、○作ニセ君、○中男君は大納言にて春宮大夫頼宗ときこの、御わらは名いは君、今一所はおなじ大納言中宮權大夫能任と聞ゆ、今一所中納言長家御わらはな、こわか君、今一所は馬頭にて、顯信とておはしき、御わらはな、こけ君なり、

〔榮花物語一月宴〕ないしのかみ○村上尚侍のおほんはらから、たかみつのせうしやうときこえ